

一般社団法人 三重県作業療法士会 広報誌

OTみえ

NEWS

No.131

2019.10



リハレンジャー、志摩ロードパーティに参上



contents

【広報部からのお知らせ】

掲載内容について

会員の皆様へ：広報誌への掲載希望、要望についてご意見をお聞かせください。

広報部 e-mail: kouhoumie@gmail.com

【巻頭言】

「一般社団法人 三重県作業療法士会 30周年の白書作成」

三重県作業療法士会 副会長 松本周二

【知人 de リンク】

医療法人全心会 伊勢慶友病院 松阪徳美

JA 三重厚生連 鈴鹿厚生病院 村田 光

【施設紹介】

社会医療法人畿内会 岡波総合病院 山内雅之

【参加報告】

[第30回三重県作業療法学会の報告]

実行委員として参加して／国立病院機構榊原病院 小林未怜

演題発表を経験して／三重県立こころの医療センター 三好哲也

【イベント参加報告】

志摩ロードパーティーフマラソン 2019 に参加して／済生会明和病院 中川真澄

ファミリー交流会 in おやつタウンに参加して／鈴鹿中央総合病院 中村優里

【一般社団法人三重県作業療法士会 定時社員総会及び新人オリエンテーション】

令和元年度定時社員総会／南勢病院 伊藤和洋、主体会病院 伊藤航平

【各部局、委員、ブロックのイベント報告】

(一社)三重県指定自動車教習所協会との自動車運転に関する意見交換会／運転と作業療法委員会 宮坂裕之

中勢ブロック施設見学会の感想／藤田医科大学七栗記念病院 進藤直紀

高校生作業療法体験・見学会を終えて／作業療法啓発部 島崎 博也、藤田医科大学七栗記念病院 大石明紀

【県士会からのお知らせ】

発達支援作業療法推進委員会からのお知らせ

三重県作業療法士会 障がい者スポーツ推進委員会からのお知らせ

みえ福祉用具フォーラム 2019 のご案内

第31回 三重県作業療法学会のお知らせ

【勉強会 / 研修会のお知らせの掲載について】

勉強会、研修会の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/study/>

【賛助会員のご紹介】

日本モッキ 〒516-0008 伊勢市船江3丁目17-19 TEL.0596-65-6039

【求人情報】

求人情報の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/job/>

【編集後記】

三重県作業療法士会会員数 650名 施設会員 609名 自宅会員 41名

一般社団法人三重県作業療法士会30周年の白書作成

Topics



一般社団法人三重県作業療法士会 副会長 松本周二

三重県作業療法士会白書は三重県作業療法士会設立10周年、20周年、25周年（一般社団法人化時）に発刊されており、今回で4回目にあたります。2冊目の白書までは、十周年記念毎の式典の時に、また一般社団法人化の時に合わせて発刊してきました。日本作業療法士協会では、作業療法のサービス提供や作業療法士の働く環境等に関しては白書アンケートにて調査・集計した結果を常時把握しています。三重県作業療法士会では、協会白書では補うことの出来ない県士会独自の内容を調査したいと考えております。

アンケート調査の対象は、士会員の所属する全施設で、管理職（毎年）と個人（5年毎）のそれぞれで回答していただく形となっております。今回も多くの方の士会員、施設のご協力をお願いしたいと思っております。忙しい臨床業務の中で多くの項目にわたるアンケートに回答をしていただくことになる会員の皆様、どうぞよろしくお願い致します。今回の白書で特に力を入れたのは、出来るだけ簡単に施設・個人の方にアンケートに協力していただけるかということを念頭におきました。そのため、回収率を向上させ信頼性の向上を図るためにグーグルフォームを使用したアンケート調査を実施しようと思っております。記載事項を出来るだけ減らし、簡単に素早く入力できることに力を入れました。

今回の白書では、前回までの内容を踏襲しながらも諸事情を鑑みて調査項目やデータの提示方法、掲載について検討しました。今回新たに追加した主な内容を下記に示します。

管理職対象のアンケートでは、今年度のOTPTST採用数、新規採用した理由、新規事業があれば具体的内容と時期などです。

個人対象のアンケートでは、今の職場を選んだ理由、認定作業療法士を目指しているかどうか、臨床実習指導者研修会に参加する意思についてなどです。

簡単に回答が出来る内容が多くなっております。また、白書は行政、関連団体が私たち作業療法士会をみる上で重要な内容となります。重要な白書だからこそ回収率が重要になってきます。回収率が低いと信頼性が低くなってきます。逆に高いと我が法人の行政、関係団体からの信用性も高くなります。この巻頭言が出るころにはアンケート回収が終わり、集計を行っている最中となります。是非とも士会員の皆様、アンケートへのご協力お願いいたします。

知人 de LINK

医療法人全心会 伊勢慶友病院 松阪徳美

前回、医療法人紀南会 熊野病院の伊藤大晃さんから紹介頂きました、医療法人全心会 伊勢慶友病院の松阪徳美です。伊藤さんは専門学校時代の同級生であり、クラスのムードメーカーとして皆を楽しませたり、まとめてくれていたりしました。また、同じ地域から通っていたため、他の友人も含めてグループワークを頑張った仲間でもあります。

私は伊勢市の伊勢慶友病院に勤務して4年目になります。

昨年より一般病棟、療養病棟、外来患者様を担当させて頂いています。外来患者様に対しては限られた時間での介入となるためその時間をどう活かすかが難しく、先輩方にも助けて頂き毎日が勉強であると感じています。患者様と話している中では、自分の知らないことを教えてもらうことも多く、楽しみとなっており、コミュニケーションは今後も大切にしていきたいと思っています。

プライベートに関しては旅行に行くことが好きで、最近は今までに行ったことのない地域を旅行するのが楽しみとなっています。先日は職場の先輩とともに初めて香川県に行ってきました。うどん巡りが目的でしたが3杯でギブアップでした。しかし、本場で食べる讃岐うどんはとても美味しかったです。香川県内にはたくさんのうどん屋があると教えて頂いたので、他のお店にも行ってみたいと思いました。山頂にある天空の鳥居が有名な神社にも行ってきたため写真を載せさせていただきます。また、小豆島や豊島などの離島にも行きましたが、ゆったりと時間が流れているように感じ、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

今回は専門学校時代の後輩である桜木記念病院の三浦有紀さんをお願いしたいと思います。よろしくお願いします。



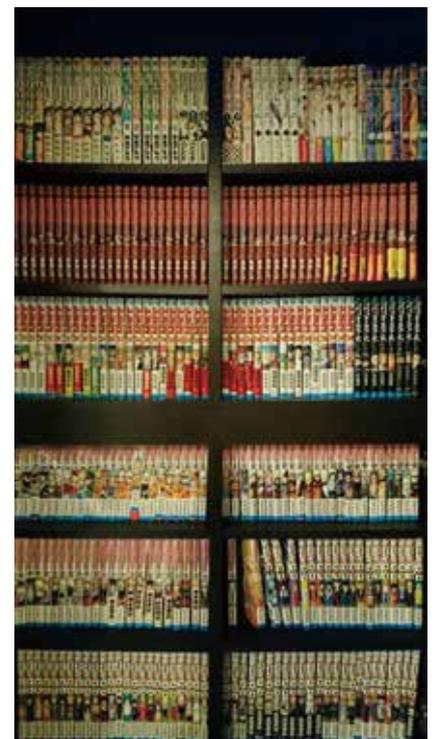
JA 三重厚生連 鈴鹿厚生病院 村田 光

みなさんこんにちは！私は多度あやめ病院の片岡浩士さんよりご紹介いただきました、JA三重厚生連 鈴鹿厚生病院所属の村田光です。片岡浩士さんとは、同じ専門学校に通っていた先輩後輩という関係で、今でもプライベートで遊んでいただくほど仲良くさせてもらっています。

現在、私は精神科の病院に勤めており、1年と1カ月程が経過いたしました。現在は病棟と併設しているデイケアセンターで勤務しており、毎日楽しく作業療法をしています。当院のデイケアセンターは、日頃地域で生活をしている方々が、日中より良く生活するための居場所であり、平日事業所などに働きに行っている方々が医療と繋がりを持てる場所として存在しています。私はその中でOTとしてメンバーさんに「このプログラムに参加して楽しかった」と思っていただけのようなプログラム作りやプログラムの運営を行っています。また、県士会などの院外活動にも積極的に参加させて頂いております。

プライベートでは、昔からコミックを読むことが趣味で、今でも自分の好きなコミックはたくさん集めてしまうほど大好きです。集め始めてから現在までに1000冊以上のコミックを集めており、数年前には家に置いておくスペースがなくなったため、手作り本棚を作りました。今回は自分が集めた本を写真に撮ったので載せたいと思います。

今回は私の学生時代の同級生で、学生時代によく勉強をともにした大台町介護老人保健施設 みやがわに勤務されている作業療法士の山本雄太さんを紹介させていただきます。よろしくお願いします。



施設 紹介

社会医療法人 畿内会 岡波総合病院



山内雅之

1. 病院（施設）紹介

当法人は伊賀市にある伊賀市、名張市の二次医療圏の中核病院として、総合病院に回復期リハビリ病棟、訪問リハビリ、そしてこの5月に開設した短時間通所リハビリと老人保健施設3つを備えた、急性期から生活期まで幅広くフォローできるケアミックス型の複合施設になります。

今回はその中の病院 OT の活動を紹介させていただきたいと思います。

2. 仕事の紹介

当院は現在18名のOTが在籍しており、1)病棟専従、2)一般急性期、3)回復期、4)訪問リハビリ、5)通所リハビリに分かれて業務にあたっています。

1) 病棟専従

病棟に専従療法士を配置することにより加算が算定できる、いわゆる「ADL維持向上体制加算」を算定しています。

一般的に療法士は医師の処方を受け、処方を受けた患者様のみに関わらせて頂きますが、病棟専従療法士は対象病棟全ての入院患者様のもとへ訪れ、入院時の日常生活動作の確認や廃用症候群の予防的介入、必要に応じて主治医に対しリハビリオーダーを依頼します。療法士の視点で早期介入するので廃用になる前に予防でき、医師、看護師などが見落としやすい身体・認知機能の低下にも対応できます。

現在、病棟選任の理学療法士とともに集団体操にも取り組んでいます。



2) 一般急性期

総合病院として一般的な脳血管疾患、整形疾患だけでなく、呼吸器疾患、心疾患、がんなど幅広く関わっています。領域が多岐にわたるので疾患別にリーダーを置き、きめ細やかにかつ専門的な対応が出来るようにしています。

3) 回復期リハビリ病棟

当院の回復期リハビリ病棟の入院患者様はそのほとんどが当院一般病棟からの転棟される方になります。当院は「療法士による手厚いリハビリ」、病棟スタッフによる「病棟訓練、集団起立訓練」、栄養補助食品の導入や栄養の見直しなどの「リハビリ栄養」のこの3本柱で総合的に回復が図れるよう関わらせて頂いています。

4) 訪問リハビリ

併設の超在宅復帰型を含めた各老健からの退所者や一般病棟、回復期リハビリ病棟からの退院後の生活を支援する役割を担っている訪問リハビリです。

またサービス担当者会議に参加したり、直接ケアマネジャーと連絡を取り合ったりなど比較的地域資源との関わりが多い部署なので「地域リハビリ」の教育機動的な役割も担っています。

5) 通所リハビリ

平成30年度の改定の「維持期のリハビリテーションの廃止」に合わせ、今年の5月から「短時間通所リハビリ」を開設しました。①個別リハビリ、②集団リハビリ、③有酸素運動、④学習療法の主に4つから患者様のニーズや適応に合わせプランを組んでいくというもので、まだまだ模索中ですが徐々に利用者数が増え活気づいてきています。

3. 今後について

以上、当院におけるOTの活動を紹介させていただきました。それぞれがその役割に応じてつぎ目のない、シームレスなリハを提供できるようにチームで協力して仕事に励んでいます。今後、2022年に新病院へ移転する予定でそちらへ向けて現在準備中です。見学も随時受け入れていきますのでいつでも来てください。

参加報告 第30回三重県作業療法学会

実行委員として参加して

国立病院機構榑原病院 小林未怜

2019年3月2日(土)、第30回三重県作業療法学会『原点回帰(origin regression)～日々提供している作業療法を再考する～』の実行委員として参加をさせていただきました。

学会では、一般演題、山本伸一先生の特別講演、一般公開講座と多くの話を聴く機会がありました。目の前の対象者を通じて、その人の大切にしていることを大事にするというのは分野問わず共通のことと強く感じました。今回感じたことを心に留め、今後も日々の臨床に取り組んでいきたいと思えます。

私自身、学会の実行委員として参加することは初めての経験でした。参加者から実行委員としての仕事は全く違い、様々な準備を長い期間をかけて行われていたことを知りました。至らない点も多かったと思いますが、他施設、他病院の作業療法士の方たちと一緒に1つのものを作ることができ、とても貴重な経験となりました。第30回という節目の年の学会を実行委員という形で参加することができ、嬉しく思います。



上西学会長



特別講演の山本伸一氏(左から2番目)



本学会の実行委員

演題発表を経験して

三重県立こころの医療センター 三好哲也

今学会にて演題発表をさせていただきました。テーマが「原点回帰」ということであり、発表に至るまでのすべての手順も自分にとっては振り返る大切な機会になりました。発表に向けて準備をすることは得意ではありません。しかし、「やってきたことはどうなのだろうか?」との振り返る時間は専門家として成長するためには必要な事だと思います。そんな時間を自分だけでなく、同僚と共有できたことは大変幸せなことだと感

謝の気持ちでいっぱいです。

私が働く精神科分野では、取り組み内容を一般の方や他職種へ伝達することが課題と言われています。様々な分野の作業療法士に精神科の取り組みを紹介できたことを嬉しく、それができていることが県学会の一番の強みだと思います。分野を越えて、これからも作業療法士として対象者の人生を応援できる存在を目指して励んでいきたいと思えます。



公開講座の様子

参加報告 リハレンジャー登場



志摩ロードパーティーフマラソン 2019 に参加して

済生会明和病院 中川真澄

2019年4月21日(日)に開催された志摩ロードパーティーフマラソン 2019 にリハレンジャーとして参加させて頂く機会を得ました。その中のバリアフリー専門コースのバリアフリーパーティランは、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターにより企画・運営されており志摩ロードパーティーフマラソンは今年で15回目、バリアフリーパーティランは10回目という記念すべき回でした。参加者は三重県の方だけではなく他県からの方も多く参加していました。

リハレンジャーの活動としては参加者の前でリハレンジャー



体操と完走賞の授与をさせて頂きました。当日は天候に恵まれ気温が高い日となりましたが伴走の方やご家族の方と共に頑張っ完走を目指す参加者の姿はとても素敵で輝いていました。また参加者全員が無事に完走する事ができました。リハレンジャーとして活動している中で、参加者の方から手を振ってくださったり、写真を一緒に撮ってくださったりとたくさんふれあい、コミュニケーションを取ることができました。バリアフリーパーティランの参加者以外の方も「これは何レンジャー?」と尋ねてこられる方もいっしょに、リハレンジャーに興味を示して頂けて多くの方にリハレンジャーという存在を知ってもらえかけとなりました。リハレンジャーとしての活動は3時間程でしたが参加者の一生懸命な姿や完走後の嬉しそうな笑顔は忘れられない思い出となりました。



今後再びこのような活動をする機会があれば積極的に参加させて頂きたいです。これからさまざまな活動を通して作業療法士という職業をたくさんの方に知ってもらいたいと思います。

ファミリー交流会 in おやつタウンに参加して

鈴鹿中央総合病院 中村優里

2019年7月28日(日)に三重県作業療法士会福利部主催のファミリー交流会に参加しました。今回は津市に新しくオープンした「おやつタウン」にて開催され、県士会員とその家族合計47名が参加しました。

おやつタウンでは、巨大アスレチックやベビースターラーメン作りなどをして楽しみました。巨大すべり台に何度も並び、は



しゃいでいる子どもたち、ベビースターラーメンを真剣に作っている姿など様々な表情が見られて楽しかったです。

ベビースターラーメン作りでは、大人も夢中になってしまうほど楽しいものでした。焼きそば・のり塩・もんじゃ焼き・チーズ・ココアなど様々な味の中から好きなものを選び、それを味のついていないベビースターにかけ、乾燥させて出来上がりという、子供でも作ることができる工程でした。出来上がったベビースターラーメンを食べて満足そうなお子さんや、食べすぎるあまりお母さんに注意されているお子さんなど、様々でした。また、近くで作っていた方との味の交換などをし、自分で作った以外の味を楽しむことが出来て良かったです。

今回は、物(ベビースターラーメン)を作るという「作業」を通して他の作業療法士と交流することが出来、改めて作業の大切さを感じる事が出来ました。また、普段はお会いすることのない作業療法士とのお子さんにもお会いでき、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

最後になりましたが、参加された皆様、運営の皆様、本当にありがとうございました。

【協会・士会主催会議、研修の参加報告 1】

令和元年度定時社員総会、懇親会の感想

南勢病院 伊藤和洋

2019年6月9日(日)に令和元年度定時社員総会・入会オリエンテーション・新入会員歓迎会に参加させていただきました。

総会に合わせて分野別の勉強会が行われました。勉強会では、認知症の特徴や、認知症の患者様と関わる上で大切なこと、施設で行われている活動など、とても貴重なお話を聞かせていただくことができました。懇親会では、大勢の作業療法士と関わるができるゲームを行い、交流を深めつつ、他の作業療法士と自分の考え方の違いや、意見を統合する事の難しさと大切さを学ぶことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

今回のように、勉強会に参加することや多くの作業療法士と関わりを持つことは、作業療法士としての自分を高めていく上でとても大切で貴重な経験であったと感じました。今後もこのような機会には積極的に参加し、作業療法士として成長していきたいと思いました。



主体会病院 伊藤航平

今回、入会オリエンテーションに参加し、たくさん学び、様々な方々と出会うことが出来ました。

企画してくださったミニゲームでは、先輩や同期の人たちと交流ができました。病院で共に働く先輩だけでなく、学校でお世話になった先輩や実習指導して下さった先輩の方々と再び会わせていただく機会を与えていただき、素晴らしい先輩の下で様々なことを学んでいきたいと感じることが出来ました。また、体験学習では、グループで色々な意見を出し合い、自分の意見を主張する事の大切さと他人の意見を認める重要性を学ぶことが出来ました。

三重県で働く作業療法士として頑張っていきたいという気持ちが強くなりました。また、働いている病院だけではなく、その地域、そして三重県に貢献できるような作業療法士になりたいと思いました。

この度は、素敵な機会を与えていただき誠にありがとうございました。これからも何卒よろしくお願いいたします。

【各部会、委員、ブロックのイベント報告 1】

(一社)三重県指定自動車教習所協会との自動車運転に関する意見交換会

運転と作業療法委員会 宮坂裕之

2019年3月26日(火)に鈴鹿サーキット交通教育センターにて当会の田中会長、委員1名、交通教育センターのインストラクターと一般社団法人三重県指定自動車教習所協会(指定協)の担当者の方々と自動車運転支援について意見交換会を実施しました。今回の意見交換会の目的は、実際の患者さんが鈴鹿サーキット交通教育センター内の構内コースを使用し実車評価を行なっている場面を関係者が見学することです。

患者さんの調整は、当会委員の杉山さんのご協力で実現



し、患者さんにも取り組みの経緯を理解していただきました。インストラクターの指示のもと、自動車への乗り込み、安全確認、コース周回など、

一般的な自動車運転講習が行われました。関係者は施設の展望スペースから講習場面を見学し、当会委員と実場面でのリスク管理や難渋したケースなどについて活発な意見交換をしました。講習終了後には、さらに意見交換を行い、作業療法士が講師となり、指定協の関係者に研修会を行うことが決定しました。研修会の内容は、次号(132号)の広報誌でお知らせする予定です。

今後も、各関係団体と連携しながら、県内の自動車運転支援体制の確立を目指していきたいと思います。



中勢ブロック 施設見学会の感想

藤田医科大学七栗記念病院 進藤直紀

2019年6月28日に行われた介護老人保健施設あこの施設見学会に参加させて頂きました。当日は入所やデイケアの説明や症例報告などがあり、施設の特徴や取り組みなどをわかりやすく説明して頂きました。中でもデイケアは特徴的な取り組みがされており、とても勉強になりました。あこのデイケアはリハビリに特化した3時間の短時間利用で行われており、「アクティビティ」、「ブレインリハビリテーション」、「専門職によるリハビリ」の三本柱でリハビリが提供されていました。アクティビティではタブレットを利用した塗り絵や数独などのアプリの活用、ストレッチや机上での巧緻課題、テレビ体操などを3時間中の余暇時間を利用して利用者が主体的にできるように取り組まれていました。ブレインリハビリテーションでは独自で開発された認知機能練習ソフトを使用しており、実際に体験させて頂きましたが課題の種類も多数あり私たちでも楽しめるツールとなっていました。専門職によるリハビリではロボットスーツ HAL、歩行アシストロボット、免下式歩行器を利用したリハビリや川平法など病院でのリハビリにも勝るとも劣らないリハビリが提供されていました。

この三本柱を利用者に合わせてコーディネートし3時間充実した時間を過ごせるように様々な工夫がされておりました。

今回見学させて頂き様々なことを学ばせて頂きましたが、利用者に質の高いサービスを提供するため新たなことにチャレンジする姿勢に一番感銘を受けました。

他の施設を見学することは新たな発見や気づきを得ることができ、自分が提供しているリハビリを考え直す良い機会にもなると思います。皆様も施設見学の機会があればぜひ一度参加してみてください。



〔各分会、委員、ブロックのイベント報告 2〕

高校生作業療法体験・見学会にご協力ありがとうございました

作業療法啓発部 鈴鹿医療科学大学 島崎博也

作業療法啓発部主催による高校生作業療法体験・見学会を、2019年7月22日(月)～27日(土)の期間で実施いたしました。本年は、県内68施設(昨年は73施設)に受け入れ協力をいただき、高校生より希望のあった38施設(昨年は31施設)へ62名(昨年は41名)の高校生に参加していただきました。

高校生62名の内訳は「1年生4名、2年生26名、3年生32名:男性13名、女性49名」であり、58名の参加高校生にアンケートを実施できたので報告します。

作業療法を知っていた高校生は、58名中57名であり、多くの参加者に周知されていました。知った時期は、小学生5名、中学生21名、高校に入ってから31名と幅広く、学校や家族、病院で知ったという意見を多く認めました。また、参加者全員が本事業に参加して、作業療法への興味が深まったと回答されており、感想として「しっかりと作業療法士の仕事を

らなかったので、現場を見ることでとても勉強になった」、「自分がイメージしていた作業療法士と違って、興味がより深まった」などの意見が寄せられており、非常に有意義な活動であると考えます。ご協力を頂きました施設の皆様には、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

本年は、県内約半数にあたる68施設に受け入れの承諾をいただき、参加者がいなかった残りの30施設の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。しかしながら、昨年から本年にかけて参加高校生が21名増加しており、高校生を始めとして進路指導の先生からも作業療法士を進路指導の選択としてご検討いただく事も増えており、今後の需要も高まってくると予測されます。県士会員の皆様方には、引き続き来年度も多くの高校生に参加していただきたく思いますので、できるだけ多くの施設に受け入れ承諾のご協力を賜れば幸いです。

是非ともよろしく願い申し上げます。

高校生見学会で作業療法士の役割を伝えました

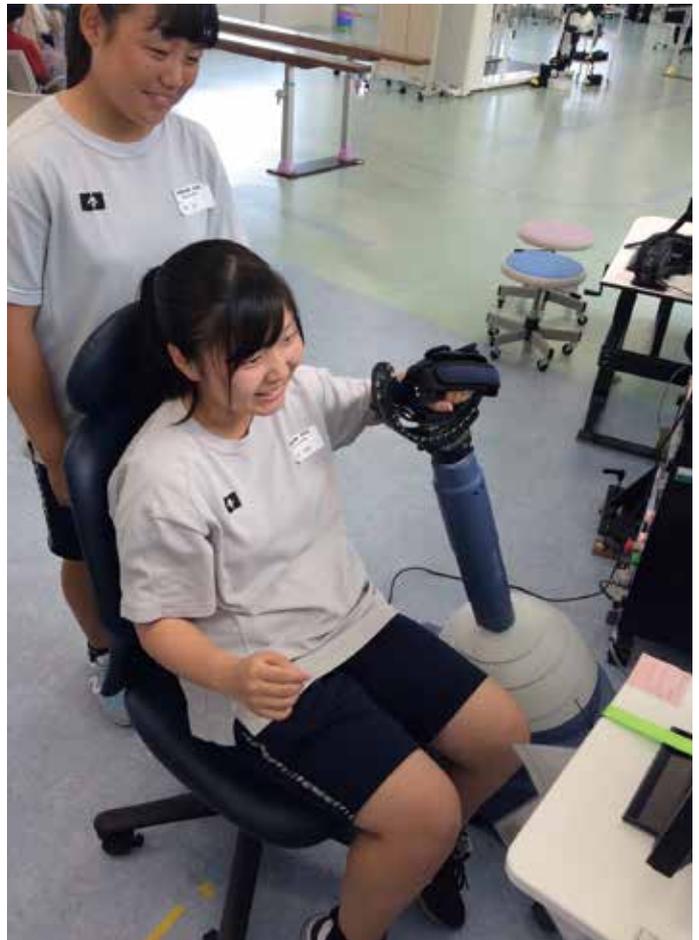
藤田医科大学七栗記念病院 大石明紀

2019年7月23日、24日の2日間、県内の高校生3名が作業療法体験見学会に参加してくれました。見学会では作業療法に参加して患者さんと触れ合ったり、最新のロボットを体験してもらったりと、実際の臨床現場を体験してもらいました。

思い返してみると、私が「作業療法」という言葉に出会ったのは中学生の頃でした。私の身近には作業療法士についての情報はほとんどなく、インターネットや本で調べたりリハビリのイメージも曖昧であったこと思い出します。

「作業療法士ってなにをする仕事なの?」と、言葉にすると分野も役割も沢山あって難しくなりますが、今まで作業療法士として働いてきた経験として、人の温もりに触れるやりがいのある仕事であることを高校生に伝えるようにしました。

病院見学に来てくれた生徒は「進路に迷っている」「実際にリハビリをしている場面を見たい」という動機ではあったものの、数ヶ月、数年後に作業療法士の道へ進みたいと思える動機付けになれば良いと思いました。来年もこのような企画があれば引き受けて、高校生に作業療法の魅力を伝えたいと思います。



県士会からのお知らせ | 1

発達支援作業療法推進委員会からのお知らせ

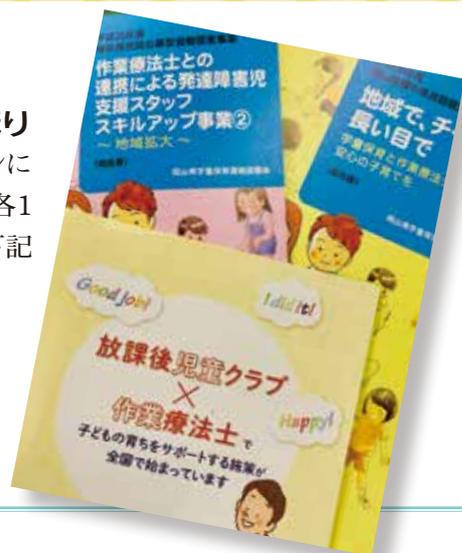
発達支援作業療法推進委員長 熊谷ちほり

平成30年度 岡山県での作業療法士による学童保育へのコンサルテーションに関する実践報告書が県士会に届きました。当委員会で冊子を保管しています。各1冊しかありませんので、閲覧のみでの対応とさせていただきます。ご希望の方は下記までメールにてご連絡ください。

連絡先

学校法人 みえ大橋学園 専門学校 ユマニテク医療福祉大学校
作業療法学科 熊谷ちほり

e-mail: kumagai@humanitec.ac.jp



障がい者スポーツ推進委員会からのお知らせ

障がい者スポーツ推進委員長 小山隆幸

今年度より、障がい者スポーツ推進委員会が立ち上がりましたが、皆様ご存知ですか？作業療法士がスポーツ推進？と思われるかもしれません。

皆様ご存知の通り、2021年には三重とこわか大会が開催されますが、実は期間中、作業療法士は各競技のコンディショニングルームを一部担当することになっております。そこで、協力部員の依頼・指導も含めて、障がい者スポーツ推進委員会が立ち上がりました。しかし、とこわか大会のみならず、永続的に障がい者スポーツ大会への選手発掘などの支援なども視野に入れて活動を行なっていく予定になっております。

そこで、より多くの方に障がい者スポーツを知って頂きたい、三重県が開催している障がい者スポーツの体験教室などの情報を今後アップしていきたいと思っております。興味のある方は、是非参加してみてください。

地域障がい者スポーツ教室

開催時間/全地区共通 10:00～12:00

参加無料

北勢地区

三重県立特別支援学校北勢きらら学園

2019年9月22日(日)・11月24日(日)

中勢地区

三重県身体障害者総合福祉センター

2019年9月21日(土)・11月24日(日)

名張・伊賀地区

三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園

2019年9月22日(日)

伊賀市立大山田小学校

2019年11月3日(日)

南勢地区

三重県立度会特別支援学校

2019年9月22日(日)・11月24日(日)

お問合せ・申込み先

三重県障がい者スポーツ協会事務局

三重県身体障害者総合福祉センター障がい者スポーツ推進課内

「みえ福祉用具フォーラム 2019」のご案内

日時: 2019年11月22日(金) 10:00～15:30

会場: 三重県身体障害者総合福祉センター

(みえテクノエイドセンター)

参加費: 無料

※ 実技セミナー・特別講演は事前申し込みしてください

内容:

- (1) 福祉用具や自助具の展示と体験 (10:00～15:30)
介護者の腰を守るためのリフターなど40社・団体が出展
- (2) 実技セミナー(11:30～12:30)
「腰を守る福祉用具」
講師 住まいと介護研究所所長 谷口昌宏氏

- (3) 特別講演 (13:30～15:00)

「福祉用具の活用と腰痛予防対策」

講師 住まいと介護研究所所長 谷口昌宏氏

- (4) 第14回みえ福祉用具アイデアコンクール 2019 表彰式 (15:00～15:30)

お問合せ先・お申込み先

三重県身体障害者総合福祉センター内

みえテクノエイドセンター 永田・日比

TEL:059-231-0155

FAX:059-231-0614

<http://www.ztv.ne.jp/mie-tech/>

県士会からののお知らせ | 2

第31回 三重県作業療法学会のお知らせ

学会長：青木佑介 実行委員長：八原大輔
 会期：2020年3月8日(日) 9時半～
 会場：三重大学 第一講義室、多目的室、第二講義室
 学会テーマ：生活を支える EBOTとNBOT の実践
 特別講演(OT)：井野辺病院 加藤貴志 先生「障害者の
 自動車運転について(仮)」
 特別講演(ST)：浜松市リハビリテーション病院 リハビリテー
 ション科医師 金沢英哲先生 嚙下関連
 内容：一般演題(口演・ポスター)、企業展(福祉用具、電気
 関連機器、治療用具など)
 *三重 ST 学会と同会場で同時開催します。自由に行き
 来が可能です。
 *一般演題より三重県作業療法学会優秀賞を決め、表彰
 します。ぜひとも発表をご検討ください。

今回の学会は三重大学にて開催します。場所のお間違えのないよう、周知をよろしくお願ひします。

その他、学会の詳細については、今後の実行委員会等にて決定していきたいと思います。

学会ホームページに随時更新していきます。

会員の皆様、お忙しいとは思いますが、ご参加の程よろしくお願ひします。

問い合わせ先

松阪中央総合病院 リハビリテーションセンター
 青木佑介、八原大輔
 TEL：0598-21-5252
 e-mail：mieotgakkai@yahoo.co.jp

[勉強会 / 研修会のお知らせの掲載について]

勉強会、研修会の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。
<http://mieot.com/info-cat/study/>

[賛助会員のご紹介]

日本モッキ

〒516-0008 伊勢市船江3丁目17-19 TEL.0596-65-6039

[編集後記]

広報誌『OT みえ』が電子媒体になり、2年目を迎えます。今までよりもイベントへの参加報告の記事が県士会ホームページに掲載されるなど、リアルタイムに情報が手に入るようになったと思います。また、広報誌という「形」になったものも、ホームページにバックナンバーをつけて、誰でも閲覧することができます。ぜひ、本号以降も楽しみにお待ちください。

今年度のファミリー交流会、企画運営した福利部の皆様お疲れ様でした。今話題の「おやつタウン」で開催するとは驚きました。例年より参加者が多く、会員のつながりができたのではないのでしょうか？福利部の皆様、今後も会員の縦横のつながりを作るための企画を楽しみにしています。

(編集：宮坂裕之、部局員：伊藤篤史、進藤直紀、渡邊 誠、岡田拓朗)

発行所

〒514-1296
 三重県津市大鳥町424-1
 藤田医科大学七栗記念病院内
 一般社団法人三重県作業療法士会 広報部
 発行責任者：田中一彦

事務局

〒512-1111 三重県四日市市山田町5538-1
 小山田記念温泉病院 リハビリテーションセンター内
 一般社団法人三重県作業療法士会 事務局
 TEL：059-328-1260
 FAX：059-337-9511
 e-mail：mieotjim@yahoo.co.jp